

# “鉄より堅く逞しき”

生徒指導通信 第12号  
令和3年7月5日発行  
黒沢尻工業高等学校

## ○「なんで自分ばかり…」からの脱却

先生に注意された時、つい、“なんで自分ばかり！”と思ってしまう人はいませんか？そう思ってしまう人には、注意されやすい何かしらの特徴があるかも知れません。自分に該当するか、チェックしてみましょう。

### 注意されやすい人の特徴

- 1 同じミスを繰り返す。
- 2 コミュニケーションが足りない。
- 3 責任感がない。
- 4 自分のミスを受け入れられない。
- 5 ルールや時間を守らない。



学校内での活動は、集団で行われることがほとんどです。その中で、上記のようなことをしてしまう人は、どうしても目立ってしまいます。“見て見ぬふり”はできませんので、注意が入るのは当然です。その頻度が高い人と低い人では、注意の内容も変わってくるのは理解できるはずですが、ここで大切なのは、“なんで自分ばかり”からの脱却です。注意されるということは、改善を求められているからです。注意ではなく、“怒られた”ことに対する反発心だけが募ってしまい、そこに反省が伴わなければ、何度も同じようなことで注意されてしまいます。

## ○<sup>ふかん</sup>俯瞰力を磨こう！

人それぞれに個性があり、行動する際に差が出るのは仕方のないことです。注意されて、カッとなってしまうこともあるでしょうが、是非、冷静さを取り戻すことを心掛けてください。そして、自分自身を<sup>ふかん</sup>俯瞰してみてください。客観的とは「第三者の立場に立って考えること」ですが、俯瞰は「誰の立場にも立たずに、広い視野で全体を考えること」です。俯瞰力を磨くポイントとしては、

- ・常に疑問を持つこと
- ・物事の目的や理由を考える
- ・感情で動かない
- ・物事を多角的に見る

注意されたことを誰かに話してみることも大切ですが、決して感情的にならず、状況を冷静に思い起こして伝えることが肝心です。アドバイスとして、客観的な考えを聞きましょう。それを聞いたら、俯瞰してみましよう。物事を分析する力も身に付けられ、良い影響が期待できるでしょう。

## ○三者面談が終わったら

7月1日から三者面談が行われています。すでに終了した人もいますが、ただ前期中間の成績を渡されて終わりではなく、担任や保護者の考えをよく聞くこと、そして自分の考えもしっかり伝えることが大切です。普段の会話では出てこない思いを耳にして、ビックリすることもあるかも知れませんが、担任の目の前での親子げんかは御法度ですよ。担任も親も他人ですが、自分がどのように思われているのかを知ることで、今後の励みになるはずです。

三者面談が終わったら、「前期末の成績を上げるために集中して授業に臨む」「進路目標達成に向けて努力する」「部活動をさらに頑張る」等の決意を固めましょう。楽しい夏休みは、あっという間に終わります。夏休みが終われば、前期末考査、そして就職試験が待っています。準備あるのみ！！

“人生の前半は努力すれば夢は叶うでいいと思う。でも、どこかのタイミングでそれを客観視しないと人生が辛い。努力すれば夢は叶う→叶っていない現在の自分→原因は自分の努力不足。努力原理主義を抜けられなかった人…”

by 為末 大(元陸上競技400mハードル選手)